

## 第8回岐阜県都市公園活性化懇談会 議事要旨

日 時：平成31年3月4日 15:30～16:30

場 所：県庁 4階 特別会議室

### 1 事務局・可児市長説明

- ・花フェスタ記念公園の活性化について、花フェスタ記念公園バラ園再整備方針案について、大河ドラマ館の設置について及び県営4公園活性化の取組状況について

### 2 意見交換

#### ○意見

- ・「本物」を作っていくのであれば、その公園が持っている価値を過不足なく表す名前を考えていくのがインバウンドを含めたブランド力の向上につながると考える。
- ・戦略的な料金設定について、指定管理者制度のいいところは季節や日にちによって可変性があるところである。料金設定の水準は条例で定めておいて、可変性のある値段設定をする。
- ・飲食・商業施設について、役所が飲食施設を作ると単一用途なものになることが多い。民間事業者の融通が利くような作り方のほうが民間は参入しやすい。
- ・NHK大河ドラマ館については、是非やっていただきたい。可児市はドラマの中でも最初の舞台である。最初の客をしっかりと捕まえたい。スタートダッシュがすべてである。
- ・「1年を通じ安定した利用者確保」とあるが、年齢層、属性というところを深掘りする必要がある。幅広い年齢層の中で、ファミリー層をどう狙うかが重要である。
- ・いろいろな料金設定の方法があると思うが、利用者層のターゲットをどこにするのかということで、料金設定の工夫の余地が出てくるように思う。
- ・民間導入について、都市公園法は、仕組み上、ほとんどのことができるようになっていく。民間事業者が参入してくる中でコーディネート役をすることが県職員に求められる。
- ・新しく大きく変えるのであれば、名前を変えないと人も寄らず、イメージも変わらない。
- ・タワーを活用するのか、なくしてしまうのかの決断が必要。
- ・大きい面でバラを見せるなど、立ち止まって楽しむポイントは、小さくてもたくさんあった方が面白い。公園を紹介する際、大小にかかわらず、立ち止まるポイントは画になる部分のため、売り出し方としてとても重要。
- ・最近植物園や動物園などの施設で重要視されているのは普段体験できないことを体験できる「ファンゾーン」である。これがないと、素晴らしい施設でも見ていることを体験できないというストレスになってしまう。
- ・花フェスタ記念公園は、来年度から始まるガーデンツーリズムの大きな拠点になるのではないかと。
- ・ガーデンツーリズム構想は、単体の施設だけでなく、それらを巡るようなコース設定でつないでいくという構想。岐阜県内の県営4公園も、つなぐということを大事にしていきたい。
- ・1年を通じてどんな時期に花が見られ、どれだけお客さんに来てもらえるかの検証と分

析を行い、花が見られない時期の温室の展示や、イベントの打ち方を考えないといけない。

- 花き振興拠点の整備について、国際園芸アカデミーが技術、ノウハウを発信する役割を担えると、質がもう一段上がると思う。
- ファミリー層向けのアミューズメントをどのように提案していくかが大切。
- 2020年春、ウェルカムガーデンの立ち上げの時にどういった明快なメッセージを伝えていくのかということがポイントになる。